令和5年度

必履修科目に関するシラバス
(令和5年度入学生)

2

桜井高等学校

令和５年度シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位	2
学科	普通科	学年	1年		
教科書	数研出版「現代の国語」	補助教材	常用漢字ダブルクリア（尚文出版）、論読現代文１、国語辞典		
科目の概要と目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「読む」と「書く」	書けない日々 評論の読み方	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
社会と文化	水の東西	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
新しい視点	ポスト・プライバシー	推論の仕方を理解し使っている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。
環境と科学	動物園というメディア	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って発表しようとしている。
人間と時間	時間と自由の関係について	実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	同じテーマの文章を積極的に読み解き、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。
認識の枠組み	他者を理解するということ	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	論理展開を押さえながら筆者の述べている内容を粘り強く読み解き、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
問題を提起する	感情暴走社会の由来	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、筆者の文章を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
対比する	デジタルメディア時代の複製	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	筆者の主張を的確に理解したうえで積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って条件に即した形で論述しようとしている。
賛否を述べる	命は誰のものなのか	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、意図に応じて書かれているかを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。
具体例を示す	動的平衡の回復	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にまとめている。	筆者の意見に基づいて実社会における事象を積極的に考察し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
関連づける	絵を前に思いをめぐらす	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。	「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
実用の文章	課題を発見し解決策を発表する	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。
観点別評価に対する評価方法		小テスト　定期考査 ワークシート	定期考査　ワークシート 課題	発表　課題　ワークシート 振り返りシート

令和５年度シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位	3
学科	普通科	学年	1年		
教科書	数研出版「言語文化」	補助教材	古典辞書、古典文法書、漢文文法書など		
科目の概要と目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
説話	児のそら寝（宇治拾遺物語） 絵仏師良秀（宇治拾遺物語） 柿の木に仏現ずること（宇治拾遺物語）	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	積極的に説話の内容と現代社会問題との共通項を探り、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。
故事	漁夫之利（戦国策） 矛盾（韓非子） 狐借虎威（戦国策） 朝三暮四（列子）	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。
近代小説㈠	羅生門	文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。
随筆㈠	つれづれなるままに 神無月のころ（徒然草） ある人、弓射ることを習ふに（徒然草） 丹波に出雲といふ所あり（徒然草） 同じ心ならん人と（徒然草）	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	粘り強く内容を理解し、学習課題に沿って文章表現についての話し合いに参加しようとしている。
史伝	管鮑之交（十八史略） 先従隗始（十八史略） 鶏口牛後（十八史略）	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。
詩歌	サーカス I was born 短歌 俳句	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	自分で俳句や短歌を作り、クラスで発表しあう。
歌物語	芥川（伊勢物語） 東下り（伊勢物語） 筒井筒（伊勢物語） あづさ弓（伊勢物語）	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。	古文の物語を現代語の物語に書き換える。
漢詩	中国の詩・日本の詩	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。
随筆㈡	春はあけぼの（枕草子） ありがたきもの（枕草子） 雪のいと高う降りたるを（枕草子） 中納言参り給ひて（枕草子）	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	登場人物の行動や状況について積極的に自分と引きつけて捉え、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。
近代小説	山月記	文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。
観点別評価に対する評価方法		小テスト　定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	発表　ワークシート 振り返りシート

令和５年度シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位	2
学科	普通科	学年	1年		
教科書	帝国書院「高校生の地理総合」 帝国書院「新詳高等地図」	補助教材	帝国書院「新詳地理資料COMPLET2023」		

科目の概要と目標	・地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。 ・地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり， 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察・構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養わせる。 ・地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めさせる。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1部　地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章　地図や地理情報システムと現代世界 1節　地球儀と地図 2節　地図と地理情報システム	1　地球上の位置と地上の現象 2　経度の違いと時差 3　球体と平面の世界 1　地図の種類 2　地理情報システムの利用	・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 ・現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・	・地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
2章　結び付きを深める現代世界 1節　現代世界の国家と領域 2節　地図から見る国内や国家間の結びつき	1　現代世界の国家 2　地図から見る日本の位置と領域． 1　グローバル化と多様な結びつき 2　拡大する貿易 3　世界を結ぶ交通・通信 4　観光と人の移動のグローバル化	・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。	・現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。	・現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第2部　国際理解と国際協力 1章　生活文化の多様性と国際理解 序説　生活文化の多様性 1節　世界の地形と人々の生活 2節　世界の気候と人々の生活 3節　世界の産業と人々の生活 4節　世界の言語・宗教と人々の生活 5節　多様な生活文化と地理的環境	1　生活文化を考察する方法 1　生活と地形の関わり 2　河川がつくる地形と人々の生活 3　海岸の地形と人々の生活 4　氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 1　生活と気候の関わり気温・降水と人々の生活 2　熱帯の気候と人々の生活 3　乾燥帯の気候と人々の生活 4　温帯の気候と人々の生活 5　亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 1　生活を支える農業の発展 2　生活を支える工業の発展 1　宗教・民族・言語の多様性	・世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。	・世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

第2章　地球的課題と国際協力 序説　複雑に絡み合う地球的課題 1節　人口問題 2節　食料問題 3節　都市・居住問題 4節　感染症・衛生問題 5節　資源・エネルギー問題 6節　地球環境問題	1　地球的課題とその解決に向けた目標 1　人口増加と少子化・高齢化 2　地域で異なる人口問題と取り組み 1　飢餓と飽食 1　都市への人口集中 2　地域で異なる都市・居住問題と取り組み 1　広がる感染症と衛生問題 1　限りある資源・エネルギー 2　地域で異なるエネルギー問題と取り組み 1　国境を越えて広がる地球環境問題 2　地球温暖化と国際的取り組み	・世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 ・世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。	・世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。	・地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第3部　持続可能な地域づくりと私たち 1章　自然環境と防災 1節　日本の自然環境 2節　地震・津波や火山活動による災害と防災 3節　気象災害と防災 4節　自然災害への備え	1　日本の自然環境と人々の生活 1　地震・津波のしくみと被害 2　地震・津波災害と地域の取り組み 3　火山の恵みと噴火による災害 4　火山災害と地域の取り組み 5　地震･津波や火山活動への対策と共生の道 1　さまざまな気象災害 2　気象災害と地域の取り組み 3　気象災害への対策と備え	・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。	・地球的な課題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。
第2章　生活圏の調査と地域の展望	1　地理的な調査テーマの設定 2　事前調査と現地調査 3　調査結果の分析と仮説の検証 4　調査結果のまとめと地域づくりへの参画	・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。	・身近な地域の特徴を，設定したテーマに沿ってとらえ，明らかになったことを適切に表現している。	・身近な地域の特徴を明らかにするために，意欲的に地域調査に取り組もうとしている。
観点別評価に対する評価方法		用語などに関する出題から，知識・技能の定着の実態を把握する。	論述問題などにより，思考・判断・表現能力を見る。	討論や発表、ワークシート

令和５年度シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位	2
学科	普通科	学年	1年		
教科書	実教出版「詳述歴史総合」	補助教材	浜島書店「プロムナード世界史」 浜島書店「プロムナード日本史」実教出版「詳述歴史総合　徹底整理演習ノート」		
科目の概要と目標	世界とそのなかの日本の近現代史を学び、世界と日本の歴史的なつながりや現代社会の諸問題がどのような歴史を経て起きているのかを主体的に考察することで、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歴史の扉	高校の歴史学習の動機付けと以後の学習に必要な歴史学習の基本的な技能や学び方を身につけさせる。	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とのつながりの中で起きていることを理解している。	近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現している。	「歴史総合」を学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。
第１章 近代化への胎動	・18世紀のアジアや日本における生産と流通 ・アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易	18世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解している。	18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。	前近代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第２章 欧米の市民革命と国民国家の形成	・産業革命と交通・通信手段の革新 ・工業化と世界史上の形成 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向	産業革命と交通・通信手段の革新，工業化と世界史上の形成，18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解している。	政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第３章 アジアの変容と日本の近代化	・アジア諸国と欧米諸国との関係の変容 ・日本の開国 ・明治維新と大日本帝国憲法の制定	日本の開国，明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連づけて，立憲体制と国民国家の形成を理解している。	産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第４章 帝国主義の時代	・列強の進出と植民地の形成 ・日清・日露戦争	列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。	19世紀末～20世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第５章 第一次世界大戦と大衆社会	・第一次世界大戦の展開 ・日本やアジアの経済成長 ・ソ連の成立とアメリカ合衆国の台頭 ・ナショナリズムの動向と国際連盟の成立	総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。	第一次世界大戦の性格と惨禍，大戦後の国際協調体制の特徴、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。	1910～1920年代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第６章 経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌 ・ファシズムの伸張 ・日本の対外政策 ・第二次世界大戦の展開 ・大戦後の国際秩序 ・日本の国際社会への復帰	・世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策、第二次世界大戦の展開などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。 ・第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。	各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因、第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰などを多面的・多角的に考察し，表現している。	第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第７章 冷戦と脱植民地化	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国 ・冷戦下の地域紛争 ・軍備拡張や核兵器の管理 ・日本の高度経済成長	脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理，日本の高度経済成長などを基に，国際政治の変容を理解している。	日本の高度経済成長の背景と影響，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察，表現している。	1950～1970年代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第８章 多極化する世界	・石油危機 ・アジアの諸地域の経済発展 ・市場開放と経済の自由化 ・情報通信技術の発展	石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。	市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。	1970～80年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。
第９章 グローバル化と現代世界	・冷戦の終結 ・民主化の進展 ・地域統合の拡大と変容 ・地域紛争の拡散	冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。	冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。	1989年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査、準拠ノート、ワークシート	定期考査（資料読解・論述問題）、準拠ノート、ワークシート	討論や発表、ワークシート

令和5年度シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位	3
学科	普通科	学年	1年		
教科書	高等学校　数学Ⅰ（数研出版）	補助教材	クリアー数学Ⅰ＋A、クリアー数学Ⅰ完成ノート チャート式解法と演習 数学Ⅰ＋A		
科目の概要と目標	数と式、図形と計量、２次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式	多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解　実数 根号を含む式の計算 不等式の性質 １次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 集合　命題と条件 命題と証明	簡単な無理数の計算の技能を身に付けている。 集合と命題の概念を理解している。 乗法公式や因数分解の公式を適用する技能を身に付けている。 不等式の性質を用いて１次不等式を解く技能を身に付けている。	不等式の性質を基に１次不等式を解く方法を理解している。 日常の事象を数学的に捉えて１次不等式を問題解決に活用できることを理解している。 集合の考えを用いて命題を考察することを理解している。	数と式の考えを用いて事象を考察する良さを認識し問題解決しようとしたり、粘り強く考え数学的根拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
２次関数	関数とグラフ ２次関数のグラフ ２次関数の最大・最小 ２次関数の決定 ２次方程式 ２次関数のグラフとx軸の位置関係 ２次不等式	２次関数とそのグラフの特徴を理解し、２次関数の頂点から最大値や最小値を求める方法が身に付いている。 ２次方程式の解と２次関数のグラフとの関係および２次不等式の解と２次関数のグラフとの関係を理解している。	２次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどのICT機器を利用して考察しようとしている。 日常の事象を数学的に捉えて問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしようとしている。	２次関数の考えを用いて事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用したり、数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
図形と計量	三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張 正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形への応用	鋭角および鈍角の三角比の意味と相互関係について理解している。 正弦定理や余弦定理及び正弦を利用した三角形の面積の公式について理解し、それらを用いて三角形の辺や角の大きさ及び面積などを求める技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現することができ、定理や公式を導く過程を理解している。 日常の事象を数学的に捉え、問題を解決したり事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしている。	三角比を用いて事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
データの分析	データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 ２つの変量の間の関係 仮説検定の考え方	代表値、分散、標準偏差及び相関係数などの用語の意味を理解している。 データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの統計量を求めたりする技能を身に付けている。 仮説検定の考え方を理解している。	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を理解している。 複数の種類のデータを収集し分析する方法を理解している。 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、批判的に考察しようとしている。	データの分析を通して事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 課題テスト 課題	定期考査 課題テスト 課題	学習状況 振り返りシート

令和5年度シラバス

教科	理科	科目	物理基礎	単位	2
学科	普通科	学年	1年		

教科書	数研出版　新編　物理基礎	補助教材	数研出版　リードLightノート物理基礎
科目の概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動とさまざまなエネルギーへの関心を高め物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。		

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動とエネルギー	・速度 ・加速度 ・落体の運動 ・力とそのはたらき ・力のつりあい ・運動の法則 ・摩擦を受ける運動 ・液体や気体から受ける力 ・仕事 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存	・物体の速さに関係する式を理解している。 ・重力，垂直抗力，摩擦力，糸が引く力，弾性力について，理解している。 ・さまざまな運動をしている物体について，運動方程式を立てて考えようとしている。 ・圧力を求める式を理解している。 ・仕事，仕事率を計算して求めようとしている。 ・さまざまな物体の運動について，力学的エネルギー保存則を用いている。	・等速直線運動する物体の運動のようすについて説明している。 ・自由落下，鉛直投射の性質を正しく理解し，これらの運動について考察している。 ・物体にはたらく摩擦力について説明している。 ・水中にある物体にはたらく水圧や浮力について正しく理解し，説明している。 ・「仕事の原理」を理解している。 ・力学的エネルギー保存則を用いて，物体の運動を定性的に考えようとしている。	・「力」に対して，どのようにして力の存在がわかるのか，また力にはどのような種類があるのかについて考えようとしている。 ・物体の運動状態は，受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち，理解しようとしている。 ・日常で用いる「仕事」と物理で使う「仕事」の違いを理解し，物理でいうところの「仕事」について理解しようとしている。
熱	・熱と物質の状態 ・熱と仕事	・熱量の保存について理解し，熱量保存の式を立てようとしている。 ・仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解している。	・温度や熱容量，比熱はどのような物理量か，自分の言葉で説明している。 ・熱に関わる日常的な事象を，学習内容に照らし合わせて説明している。	・授業中の発問に対して、主体的に考えようとしている。 ・仕事が熱に変化するものや，熱が仕事に変化するものを考えようとしている。
波	・波と媒質の運動 ・重ね合わせの原理 ・音の性質 ・発音体の振動と共振、共鳴	・波の発生原理や基本事項を理解している。 ・定在波の生じるしくみを理解している。 ・日常生活での体験を通して，音の波としての性質を理解している。	・波の伝わるようすを，グラフで表現している。 ・固定端と自由端での波の反射について説明している。 ・音を特徴づける3つの要素について説明している。	・波に関する実験・観察に主体的に取り組んでいる。 ・授業中の発問に対して、主体的に考えようとしている。
電気	・電気の性質 ・電流と電気抵抗 ・電気とエネルギー ・電流と磁場 ・交流と電磁場	・物体の帯電するしくみについて理解している。 ・電流と電圧の基礎について理解している。 ・電力量と電力の意味について理解している。 ・交流電圧の基本について理解している。	・電気回路における，接続ごとの電流，電圧の大きさについて適切に理解しており，説明している。 ・ジュール熱について，電流と電圧とどのような関係にあるか説明している。 ・直流と交流の違いについて理解しており，それを説明している。	・電気に関する身近な現象についての話し合いで,主体的に発言している。 ・授業中の発問に対して,主体的に考えようとしている。
物理学と社会	・エネルギーの移り変わり ・エネルギー資源と発電 ・スポーツと物理学 ・防災と物理学 ・自動車と物理学	・エネルギーにはどのような種類があるか，また，身近なさまざまな事象でどのようなエネルギー変換がさなされているかを理解している。	・エネルギー資源にはどのようなものがあるか把握し，それらの長所と短所を理解している。	物理基礎で学んだ内容が，くらしの中のどのような技術と関係しているかについて発言している。
観点別評価に対する評価方法		・発問評価 ・実験レポート ・ノート提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・小テスト ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・小テスト ・定期考査

令和5年度シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位	2
学科	普通科	学年	1年		
教科書	数研出版　生物基礎		補助教材	数研出版　新課程　リードα生物基礎	

科目の概要と目標	
	・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
予備学習	顕微鏡の基本操作・観察 ミクロメーターによる測定 顕微鏡の像のスケッチ。	実験器具を正しく扱い，安全に実験を行っている。	顕微鏡を用いてタマネギの表皮を観察し，スケッチしている。	顕微鏡を用いてタマネギの表皮を観察し，どのような構造，働きがあるか見つけ出そうとしている。
生物の特徴 生物の多様性と共通性	脊椎動物の四肢の有無，呼吸の仕方，殖え方などの特徴について考える。生物の基本的な特徴を理解する。	共通祖先から由来した生物が共通の特徴をもつことについて理解している。細胞の構造と真核細胞，原核細胞について理解している。	脊椎動物の特徴の比較から，生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだして考察している。	脊椎動物の特徴の比較を主体的に考察して表現しようとしている。
生物の特徴 エネルギーと代謝 呼吸と光合成	生活のさまざまな場面でエネルギーを利用していることに気づき，生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。	ATPが呼吸や光合成など生体内で,エネルギーの受け渡しに必ず関係することを理解している。	ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し，ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解している。	生命活動はエネルギーを用いていることを，実習1通して日常生活と関連付けて考察しようとしている。
遺伝子とその働き 遺伝情報とDNA	遺伝情報を担うのが遺伝子であり，遺伝子の本体はDNAであることを理解する。	遺伝は遺伝物質であるDNAによって担われていることを理解している。	実験を通して、生物にはDNAが共通して存在することを思考している。	実験に主体的に取り組もうとしている。
遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配	塩基の相補性によりDNAが正確に複製されることを理解する。	DNAの複製のしくみは，原核生物，真核生物を問わず，すべての生物で共通していることを理解している。	DNAの2本鎖が解離した状態と複製後の状態を示す資料から，塩基の相補性がDNAの複製のしくみに関わっていることを見いだしている。	DNAの一方のヌクレオチド鎖の塩基配列により他方のヌクレオチド鎖の塩基配列が決まることに気付き，表現しようとしている。
	細胞周期の概要を理解し、複製されたDNAが正確に分配されることを理解する。	細胞周期の間期にDNAの複製が行われ，分裂期にDNAが等しく分配され，結果としてどの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解している。	思考学習を通して、細胞周期の各時期がグラフにどう現れるか思考している。 間期の細胞と分裂期の細胞の数をグラフから計算している。	DNAの分配について，学習した用語どうしのつながりを整理し，振り返ろうとしている。
遺伝子とその働き 遺伝情報の発現	タンパク質の構造やアミノ酸の構造について基本的事項を理解する。	アミノ酸の種類と並び方によって，多様なタンパク質が生じることを理解している。	アミノ酸について，配列の違いによって生じ得るペプチドの種類を思考している。	身近な食材にタンパク質が含まれていることに気づき表現している。
	タンパク質の合成過程から遺伝子の発現を関連づける。	遺伝子とその働きについて，遺伝情報とタンパク質の合成のことを理解するとともに，遺伝子の発現に関連づけている。	タンパク質合成について，DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。	個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが，細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを主体的に考察している。
ヒトの体内環境の維持 体内での情報伝達と調節	体内環境と体液の関係について理解するとともに、神経系が体内環境に関わっていることを理解する。	神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解している。体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを理解している。	実験3の運動の前後の呼吸数や脈拍数などの体の変化から，体には体内環境の変化という情報を伝達する経路があることに気付き，考察している。	実験3の結果を主体的に考察して表現しようとしている。
ヒトの体内環境の維持 体内環境の維持のしくみ	体内環境を一定に保とうとする調節のしくみを理解する。	内分泌腺や分泌されるホルモン，その作用について理解している。ホルモンの受容や機能するしくみについて理解している。	血糖濃度の変化とインスリン，グルカゴンのはたらきとの関係を考察している。	血糖濃度の調節のしくみについて，学習した用語どうしのつながりを整理し，振り返ろうとしている。
ヒトの体内環境の維持 免疫のはたらき	免疫について，免疫の働きのことを理解するとともに，異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだす。	免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解している。一次応答と二次応答のしくみと，免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解している。	免疫の働きについて，問題を見いだし，科学的に考察し表現している。一次応答と二次応答における抗体生産量の変化を示した資料から，同じ疾患に二度とかかりにくい理由に気付き，考察している。	免疫の働きに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
生物の多様性と生態系 植生と遷移	植生と遷移について，植生と遷移のことを理解するとともに，遷移の要因を見いだして表現する。 植生と遷移に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	植生と遷移について，基本的な概念や原理・法則などを理解している。植生の遷移に関する資料に基づいて，遷移の要因として土壌や光環境について見いだして理解している。 遷移について，モデル的な過程とその要因を理解している。	森林の構造と相対照度のデータから，明るさの変化を見いだして表現している。 資料から，土壌や光環境の変化によって遷移が進行することに気付き，考察している。	植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。ギャップ更新が起こらない場合の極相林について，論理的に考察しようとしている。
生物の多様性と生態系 植生の分布とバイオーム	環境に適応した植生が成立し，植生を構成する植物と生態系によってバイオームが形成されることを理解する。	遷移の結果，気候に応じたバイオームが形成されることを理解している。 世界のバイオームについて，気候や構成する生物種を理解している。日本のバイオームについて，遷移と関連づけて理解している。	森林，草原，砂漠が成立する場所の年平均気温と年平均気温から，環境条件によって植生が異なることに気付き，考察している。	気温、降水量とバイオームの関連性を主体的に考察して表現しようとしている。 地球温暖化が進むと，日本のバイオームの水平分布や垂直分布がどのように変わるのかについて，考察しようとしている。
生物の多様性と生態系 生態系と生物の多様性	生態系と生物の多様性について理解する。資料学習などを通して，生態系における生物の種多様性を見いだす。	生態系と生物の多様性，の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	生態系と生物の多様性について，問題を見いだし見通しをもって資料学習などから，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。	生態系と生物の多様性に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
生物の多様性と生態系 生態系のバランスと保全	生態系とその保全に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	生態系とその保全について生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	生態系のバランスと保全について，問題を見いだし見通しをもって資料学習などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。	生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		発言、ワークシート記述、定期考査	発言、ワークシート記述、定期考査	実験レポート、発言、ワークシート記述

令和５年度シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位	2
学科	普通科	学年	１年		
教科書	大修館「新高等保健体育」	補助教材	大修館「Active Sports 2023」		

科目の概要と目標	・運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ・自己や仲間の課題や練習方法について伝え、運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようにする。 ・ルールやマナーを大切にして、運動に自主的に取り組もうとする。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体つくり運動	体の使い方の気付き 体の動きを高める運動 効率の良い組合わせの実践 バランスの良い組合わせの実践	運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体つくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、話合いに貢献しようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
体育理論	スポーツの発祥と成立 スポーツ文化の発展と現代社会	・スポーツは，人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと，近代になって，スポーツは娯楽から競技に変化し，一般の人びとに広がっていったこと，現代では，競技だけでなく，広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており，その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について，事実や理念を整理したり，自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして，自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について，習得した知識を基に，持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて，自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に，主体的に取り組もうとしている。
	オリンピック・パラリンピックと国際社会	・現代のスポーツは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており，その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
	スポーツの経済効果とスポーツ産業	・現代のスポーツの経済的効果には，スポーツの実施による直接的な効果のみならず，例えば，スポーツ用品，スポーツに関する情報やサービス，スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果，スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり，経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
	スポーツに求められる高潔さ	・競技会での勝利が個人や国家等に多大な利益をもたらすようになるとドーピング（禁止薬物使用等）が社会問題として取り上げられるようになったこと，ドーピングは不当に勝利を得ようとするフェアプレイの精神に反する不正な行為であり，能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせる行為であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
	持続可能性からみたスポーツと環境	・スポーツに関わる人々の増加は，例えば，地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		

選択領域（A,Bの中から１領域以上選択）					
陸上競技・・・A	走・跳・投の基礎基本 短距離走 リレー	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分に高めることができる。	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
ダンス・・・B	創作ダンス 発表会	○知識 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。	○技能 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。	表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
選択領域（C,Dの中から１領域以上選択）					
球技・・・C 【ゴール型】 サッカー バスケットボール ハンドボール	基本技能 課題に応じた練習 簡易ゲーム	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間に考えたことを他者に伝えている。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
【ネット型】 テニス バレーボール バドミントン			○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。		
【ベースボール型】 ソフトボール			○技能 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。		
【武道】 ・・・D 柔道	伝統的な考え方 基本動作 連絡技 簡易試合	○知識 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。	○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
剣道	伝統的な考え方 基本動作 しかけ技・応じ技 簡易試合		○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。		
観点別評価に対する評価方法		観察 技能テスト 学習カード		観察（発表、話合い、発言） 学習カード	観察（発表、話合い、発言） 学習カード

令和５年度シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位	1
学科	全学科	学年	１年		
教科書	大修館「新高等保健体育」	補助教材	大修館「新高等保健体育ノート」		
科目の概要と目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代社会と健康	日本における健康課題の変遷	・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	健康の考え方と成り立ち	・我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
	ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり	・健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。		
	健康に関する意思決定・行動選択			
	現代における感染症の問題	・感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。 ・新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解する。	・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。	現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主体的に取り組もうとしている。
	感染症の予防	・感染症予防の三原則について理解する。 ・感染症を予防するために必要な社会および個人の取り組みについて理解する。		
	性感染症・エイズとその予防	・性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。 ・性感染症・エイズの予防に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。		
	生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。 ・生活習慣病の予防や回復のために必要な社会の取り組みについて理解する。	・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	身体活動・運動と健康	・身体活動・運動と健康の関係について理解する。 ・身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解する。		
	食事と健康	・食事と健康の関係について理解する。 ・健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。		
	休養・睡眠と健康	・休養・睡眠と健康の関係について理解する。 ・適切な休養・睡眠の確保に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。		
	がんの予防と回復	・がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解する。 ・がんの予防や回復のために必要な個人および社会の取り組みについて理解する。		

	喫煙と健康	・喫煙による健康への影響について理解する。 ・喫煙による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。	・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	飲酒と健康	・飲酒による健康への影響について理解する。 ・飲酒による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。		
	薬物乱用と健康	・薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。 ・薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。		
	精神疾患の特徴	・代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。 ・精神疾患の発症、回復のポイントを理解する。	・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に自主体的に取り組もうとしている。
	精神疾患への対応	・精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。 ・心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。		
安全な社会生活	事故の現状と発生要因	・様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解する。	・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	交通事故防止の取り組み	・交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解する。 ・交通事故には補償など法的責任が生じることを理解する。	・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	
	安全な社会の形成	・安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境の整備について理解する。	・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	
	応急手当の意義と救急医療体制	・応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。 ・救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解する。	・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
	心肺蘇生法	・心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解する。 ・心肺蘇生法ができるようにする。	・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。	
	日常的な応急手当	・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 ・熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。	・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。	
観点別評価に対する評価方法		定期考査 ノート ワークシート	定期考査 ノート 観察・実習 ワークシート	観察 ワークシート

令和５年度シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位	2
学科	全学科	学年	1年　選		
教科書	教育芸術社「MOUSA1」	補助教材	なし		

科目の概要と目標	歌唱、器楽、創作、鑑賞の幅広い活動を通して、感性を高め、音楽のよさや美しさを感じ取って、創造的な音楽活動の工夫ができる。また、音楽の基礎・基本を身につけるとともに、多様な音楽に対する理解を深める。

題材	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
美しい歌声 歌曲 ポピュラーソング	校歌、Ave Maria むこうむこう、この道 野ばら、Caro mio ben 負けないで、Memory 他	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けて表現している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌唱するかについて表現意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。 ・音楽の特徴と文化的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。
リコーダー・アンサンブル	見上げてごらん夜の星を	・曲想とリコーダーの音色や奏法との関りについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けて表現している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。
音楽の要素とイメージをつなげよう	組曲《動物の謝肉祭》	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴について理解している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。
西洋音楽史	古代ギリシャ～現代 ブランデンブルク協奏曲第2番 交響曲第9番《合唱付き》 ラ・カンパネッラ バレエ音楽《火の鳥》 他	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。
ボディ・パーカッションや"CUPS"を楽しもう	Plymouth Rock Clap,Tap with CUPS! ソルフェージュ	・曲想と手拍子や足踏み、コップや机を打つ音色や奏法との関りについて理解している。 ・創意工夫を生かした曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けて表現している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関り、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。
創作表現の探究	虫のこえ 鳥たちの饗宴	・オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴、及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けて表現している。 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように音楽をつくるか、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の活動に取り組もうとしている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。
合唱の楽しみ	故郷 荒野の果てに 他	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関りについて理解している。 ・他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付けて表現している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、合唱による表現の特徴、及び各パートや指揮者の役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。
ギターに挑戦	日曜日よりの使者 カントリーロード 他	・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けて表現している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。
観点別評価に対する評価方法		観察・聴取 課題進度状況 学習プリント 筆記テスト 実技テスト	観察・聴取 課題進度状況 創作作品 発表 実技テスト	観察・聴取 ワークシート 発表 実技テスト

令和５年度シラバス

教科	芸術	科目	美術Ｉ	単位	2
学科	全学科	学年	1年　選		

教科書	光村図書「美術１」	補助教材	なし

科目の概要と目標	自己を見つめ，幅広い制作や作品に触れることを通して体験を豊かにする。その表現や鑑賞活動を通して、造形や美術を捉える視点による見方や考え方を身に付け、美術を身近に意識し関わりをもつことで、豊かな心を育む。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション造形 美術概論	美術とは何か これからの私と美術 みると描く 発達段階と脳の働き	描画表現が発達段階や脳の働きに関わることについて理解している。 描画表現に右脳の特性を生かしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	美術のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める活動に、主体的に取り組もうとしている。
絵画 身近なものを描く	鉛筆で描く さまざまな絵の具 水彩絵の具で描く	形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具の特性を生かしている。	身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり、表現したりしている。	身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す活動に、主体的に取り組もうとしている。
デザイン 伝えるデザイン 色彩構成	色の性質、効果、配色 発想の広げ方 感情の抽象画	造形の要素の働きを理解している。 形や色、構成などの効果、伝えたいイメージなどを捉え､絵の具の特性を生かして表している。	伝えたい表現意図を基に、形や色彩の美しさ、調和を考え、構想を練ったり表現したりしている。	伝えたいイメージを効果的に表す活動に、主体的に取り組もうとしている。
絵画 想像した世界を描く	シュルレアリスム 浮世絵、ジャポニズム 凹版画 発想の広げ方	形や大きさ、性質の変化、異質なものの組み合わせ、構図、全体のイメージを捉え、凹版画の特性を生かして表している。	空想や創造などから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や陰影、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ったり、表現したりしている。	作品や美術文化の鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。 空想や創造などから、ありえない世界を表す活動に、主体的に取り組もうとしている。
彫刻 立体造形	身近な素材 吊す立体造形	形や量感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かしている。	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や量感、重心などの効果を考え、構想を練ったり表現したりしている。	使う素材を理解し、立体に表す活動に、主体的に取り組もうとしている。
絵画 自己を表す	油彩画 自画像 点描画	構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かしている。	人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり表現したりしている。	自己の内面を人物画に表す活動に、主体的に取り組もうとしている。
観点別評価に対する評価方法		ワークシート 作品	作品、 アイディアスケッチ ワークシート	振り返りシート、 学習状況

令和５年度シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位	2
学科	全学科	学年	１年　選		
教科書	教育図書株式会社 書Ⅰ、書Ⅰプライマリーブック	補助教材	なし		

科目の概要と目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てる。書に親しむ活動を通して、感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を伸ばしていく。書の美しさを感じとる鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていくとともに、書の、伝統と文化についての理解を深める。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書写から書道へ	書道の基本 用具・用材・執筆法 書体の変遷	「書道」と「書写」の違いを理解している。 「書道」での姿勢・執筆法など基本的事項を理解している。	「書道」と「書写」の違いについて考え、「書」についての見方や感じ方を深めている。	「書道」と「書写」の違いについて考え、「書」についての見方や感じ方を深めている活動に、主体的に取り組もうとしている。
漢字の書（楷書）	古典の臨書（形臨） 「孔子廟堂碑」 「九成宮禮泉銘」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」 「牛橛造像記」 「鄭羲下碑」	文字の変遷について理解している。 楷書の臨書学習により、基本的な点画、線質の表し方、用筆法・運筆法を理解している。	各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞している。	楷書の古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞する活動に、主体的に取り組もうとしている。
漢字の書（篆書） 篆刻	古典の臨書「泰山刻石」 篆刻　自用印の制作	篆書の生まれた背景を知り、特徴を理解している。 自用印制作を通して、篆刻の用具の使い方・用材の名称・制作の手順を身に付けている。	落款の役割を知り、篆刻の表現を楽しんでいる。 篆刻の基本を知り、作品に合わせた自用印を制作している。	作品に合わせた自用印を制作する活動に、主体的に取り組もうとしている。
漢字の書（行書・草書・隷書）	古典の臨書 「集王聖教序」 「蘭亭序」 「風信帖」 「争坐位文稿」 「士大夫の書」 「真草千字文」 「曹全碑」	行書の臨書を通して、字形や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解している。	行書の古典の書者との感興と意図とのかかわりに関心をもち、表現に生かしている。	行書の古典の表現の違いを理解し、その特徴を表現に生かす活動に、主体的に取り組もうとしている。
仮名の書	仮名の書の用具・用材 基本的な筆遣い 平仮名・変体仮名 仮名の連綿 古典の臨書 「いろは歌」 「蓬莱切」 「高野切第三種」 「三色紙」	仮名の生まれた背景と変遷を理解している。 仮名の書独特の筆使いに慣れ、基本な用筆を理解している。 臨書や創作を通して、運筆の律動制や筆脈を把握し、仮名の書の美を理解している。	単体、連綿の美を感受している。 運筆の律動制や筆脈を把握し、創作や臨書に生かしている。	仮名の背景と変遷を理解し、運筆の律動制や筆脈を生かした創作活動に、主体的に取り組もうとしている。
漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書 創作活動 鑑賞活動	漢字仮名交じりの書について理解する。 漢字と仮名の調和について理解する。	漢字仮名交じりの書を通した、自分らしい表現を求め、未来に向けた言葉を選び、創作している。	自分らしい表現を求め、未来に向けた言葉を選び、創作する活動に、主体的に取り組もうとしている。

観点別評価に対する評価方法	毎時間の試書 作品 ワークシート	毎時間の試書 作品 ワークシート	振り返りシート 学習状況

令和5年度シラバス

教科	英語	科目	英語コミュニケーションI	単位	3
学科	普通科	学年	1年		
教科書	CROWN English Communication I	補助教材	Workbook、補助ワークシート		

科目の概要と目標	身近なテーマから深い立場のテーマを通して、生徒の知的好奇心に働きかけ、様々な思考力、発想力を鍛える。また、多様な価値観に目を向けたり、立場の違いを理解する。それぞれの言語活動や統合的な言語活動を通して、的確に理解したり、適切に表現するコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Lesson1 The Blue White Shirt	和製英語に関する英語話者の体験談から、概要や要点を聞き取ったり、読み取ったりする。	[知識]不定詞、動名詞の理解。[L]和製英語をめぐる誤解について、対話を聞き取る技能を身に付けている。	[L]和製英語をめぐる誤解について、対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考に聞き取る。	[S,W]和製英語の長所または短所について、主体的に情報や考えを話し、書いて伝えようとしている。
Lesson2 Does It Spark Joy?	近藤麻理恵さんの生き方や片付けに関する考え方の、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]現在完了・完了進行形、助動詞の理解。[L]部屋の整理整頓についての近藤麻理恵さんの考え方を聞き取る。	[S,W]片付けに関する自身の経験やときめくものについて、考えを話したり、書いて伝える。	[R]近藤麻理恵さんの生き方や片付けに関する考え方を主体的に読み取り、概要を把握しようとしている。
Lesson3 Hatching the Egg of Hope	アーティスト・ミヤザキケンスケさんの活動や考え方について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]関係代名詞、分詞の形容詞用法、受動態の理解。[L]ミヤザキさんの活動や考え方、アートの楽しみ方を聞き取る技能を身に付けている。	[W]アートの可能性や楽しみ方について、ペアやグループで話し合い考えを書いて伝えている。	[W,S]アートの可能性や楽しみ方について主体的に考えを書いたり、発表しようとしている。自分がミヤザキさんならばどのようなアートを作るか考え発表しようとしている。
Lesson 4 Digging into Mystery	縄文時代の人々の暮らしや土器、土偶に関するプレゼンテーションについて、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]過去完了形、過去館ry法進行形、関係代名詞の理解。[R]縄文時代の人々の暮らしや土器、土偶について、読み取る技能を身に付けている。	[W]縄文人へ尋ねてみたいことや、土偶の表情から想像して読み取ったことについて、考えを書いて伝える。	[W]縄文人へ尋ねてみたいことや、土偶の表情から想像して読み取ったことについて、主体的に書いて伝えようとしている。
Lesson 5 Roots&Shoots	人間と動物の共生や環境保護に関するグドール博士へのインタビューについて、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]分詞構文、同格の構文の理解。[W]グドール博士へ尋ねてみたいことや、参加したい活動について、考えを書いて伝える技能を身に付けている。	[W]グドール博士へ本文を通じて自分が感じたこと、尋ねてみたいことや、参加したい活動について、考えを書いて伝えている。	[W]自分の考え、グドール博士へ尋ねてみたいことや、参加した活動について、主体的に考えを書いて伝えようとしている。
Lesson 6 You and Your Smartphone -Whoe's in Charge?	スマートフォンの使用に関する良い点と問題点について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]関係副詞等の理解。[S]スマートフォンの使用に関する自身の経験や考え、受けた影響などについて、意見を交換する技能を身に付けている。	[R]スマートフォンに関する良い点と問題点について、現状と懸念に関する文章を読み取り、概要や要点を把握している。	[S]スマートフォンに関する自身の経験や考え、受けた影響などについて、主体的に考えを伝えようとしている。
Lesson 7 Living in Alaska	星野道夫さんの自然に対する考え方、アラスカの自然や人々の暮らしについて、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]seem to~、It seems などの理解。[S]自然に対する自身の考えや身の回りの環境問題について、意見を交換する技能を身に付けている。	[R]星野道夫さんの自然に対する考え方やアラスカの自然や人々の暮らしについて、理解を深めるために、概要や要点を把握している。	[S]自然に対する自身の考えや身の回りの環境問題について、主体的に考えを話して伝えたり、質問に答えようとしている。
Lesson 8 Not So Long Ago	戦争の悲惨さや平和の重要性、写真の持つ力について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]仮定法過去、付帯状況withの理解。[W]戦争のない世界の実現などについて、話し合った内容を基に、考えを伝える技能を身に付けている。	[S,W]本文中で紹介されている写真や、戦争のない世界の実現について、考えを話したり、書いて伝えている。	[R]戦争の悲惨さや平和の重要性、写真の持つ力について、ガイドの解説を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
Lesson 9 Our Lost Friend	イースター島民による大英博物館へのモアイ像の返還要求について、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]受動態の完了形、関係代名詞の非制限的用法の理解。[W]イースター島民による大英博物館へのモアイ像の返還要求について、立場を明確にし、考えを伝える技能を身に付けている。	[W]イースター島民による大英博物館へのモアイ像の返還要求について、考えを書いて伝えている。	[R]イースター島民による大英博物館へのモアイ像の返還要求に関する文章を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
Lesson 10 Good Ol' Charlie Brown	シュルツ氏の作品に対する想いや考えについて、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]仮定法過去完了、形式目的語等の理解。[S,W]好きな漫画から学んだことや印象に残っていることについて、考えを発表したり書いて伝える技能を身に付けている。	[S,W]好きな漫画から学んだことや印象に残っていることについて、情報や考えを発表したり、書いて伝えている。	[S,W]好きな漫画から学んだことや印象に残ったことについて、主体的に情報や考えを発表したり、書いて伝えようとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 小テスト ワークシート 課題	授業内での様子 定期考査 小テスト パフォーマンステスト ワークシート	授業内での様子 ワークシート 学習の振り返り パフォーマンステスト 課題

令和５年度シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位	2
学科	普通科	学年	1年		

教科書	大修館書店「Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう」	補助教材	富山県教育委員会「とやまの高校生ライフプランガイド—未来をクリエイトしよう—」

科目の概要と目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて学ぶ。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 人の一生と家族・家庭及び福祉	・生活のマネジメント ・青年期の課題と自立 ・家族・家庭生活のマネジメント	家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と社会との関わりについて理解している。	ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活実践に向けた計画を考え、工夫している。	生涯を見通し主体的に生活するために、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	・子供の生活と子育てのマネジメント ・高齢期の生活のマネジメント ・ 共生社会をつくる	乳幼児との関わりや高齢者の生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。	家庭や地域及び社会の一員として共に支え合って生活することの重要性についについて、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	様々な人々と協働し、子供の健やかな発達や高齢期の自立について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
B 衣食住の生活の自立と設計	・ 食生活のマネジメント ・衣生活のマネジメント ・ 住生活のマネジメント	ライフステージに応じた衣食住の生活について理解し、自己や家族の生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	安全や健康、環境に配慮した衣食住の生活について実践に向けた計画を考え、工夫している。	自分や家庭、地域の衣食住の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
C 持続可能な消費生活・環境	・持続可能な社会をつくる ・経済生活のマネジメント	家計管理や契約の重要性、持続可能な消費について理解している。	責任ある消費について問題を見いだして課題を設定している。	課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・生活をデザインする ・ホームプロジェクト ・学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	実践を評価したり、改善したりしている。 課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 作品 ワークシート等 ホームプロジェクト	定期考査 ワークシート等 ホームプロジェクト	ワークシート等 ホームプロジェクト

令和５年度シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位	2
学科	土木科	学年	1年		
教科書	数研出版「新編　現代の国語」	補助教材	漢字問題集、辞書		

科目の概要と目標	「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書き手の意図をつかむ	目指す世界の地図を作る ものづくり	話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、情報を整理して、伝え合う内容を検討している。	筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
文章の展開を把握する	時間とは何か 地球を旅する水の話	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	筆者の考えを粘り強く理解し、適切な表現を用いて、学習課題に沿って論理的にまとめようとしている。
対比を読み取る	水の東西 里山物語	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
コミュニケーションと言葉	世間話はなぜするか 非言語コミュニケーション	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	具体的な事例について筆者の主張をもとに粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
言葉の働きをとらえる	語感トレーニング コインは円形か	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。
書き手の考えを比較する	科学と非科学 科学的とはどういう意味か	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。	粘り強く筆者の意見を理解し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		小テスト　定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	発表　ワークシート 振り返りシート

令和５年度シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位	2
学科	土木科	学年	1年		
教科書	『高等学校 地理総合－世界を学び、地域をつくる』(第一学習社) 帝国書院「新詳高等地図」	補助教材	なし		

科目の概要と目標	地理学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために，社会的諸事象の地理的な見方・考え方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し，その課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代において主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第１編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 １章 地図や地理情報システムと現代世界 １節 球面上の世界と地図 ２節 国家の結びつきとグローバル化する社会	①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差 ④世界地図の見方・使い方 ⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 ⑦地理情報システムの活用	・さまざまなユニバーサル・デザインの地図が身の回りにはあることを知る。 ・インターネットを使ってユニバーサル・デザインの地図を検索し，その情報を収集することができる。 ・地球上の位置の示し方や時差の考え方を身につけている。 ・メルカトル図法，正積図法，正距方位図法の特徴と欠点を，知識として身につけている。 ・GNSSのしくみと実社会での活用例を理解している。 ・電子基準点の役割を理解している。 ・GISのしくみと身の回りで活用されている具体例を知識として把握している。 ・地理院地図を使って自宅や学校周辺の標高差や航空写真などを確認できる。	・スティック・チャートやユニバーサル・デザインの地図を見て，どのような目的で地図が工夫されたのか考察することができる。 ・地軸の傾きと太陽の南中高度の季節による違いを理解し，太陽の見かけ上の位置と地球上の季節変化の関係性を考察することができる。 ・地球儀と世界地図を用いて，球面を平面に表現する際の特徴と問題点を，考えることができる。 ・学校周辺のハザードマップを作成する場合，どのような情報が掲載されていると利用に便利か，考察することができる。	・教科書掲載の時差の計算のワークに積極的に取り組み，日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができている。 ・地図の特徴に興味・関心を抱き，目的に応じた地図の利用について正しく選択することができている。 ・インターネットを使ってさまざまなWeb地図にアクセスし，地理情報システムなど新しい地図表現に関心をもつことができている。 ・表現する内容や用途に応じて，地図を地図帳やインターネットから集め，使い分けることができている。
	①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき	・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解している。 ・日本の領域と周辺諸国との間に抱える領土問題について理解している。 ・主な国際機関について，歴史的背景をもとに知識として身につけ，最近の動きも理解している。 ・教科書のワークに取り組み，階級区分図を作図することができる。 ・交通･情報･通信のそれぞれの役割や長所･短所を，知識として身につけている。 ・世界貿易の形態や課題を，知識として身につけている。 ・貿易の拡大に伴い専用船の開発・普及が進み，コールドチェーンの整備により人々の生活が豊かになっていることを理解している。 ・グラフや地図から観光などによる人の移動の推移や現状を読み取ることができる。	・国家とは何かをおさえた上で，国際間の人の移動や国際貿易，国家間の結合などが活発化・複雑化していることを地図から読み取ることができる。 ・世界の領土問題には平和的に解決した事例があることを理解し，日本が抱える領土問題の解決に向けて，政府や個人として必要なことを考察することができる。 ・単に交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく，それらがどのように地域を結びつけ，変化させているかを地図から考えることができる。 ・コンテナ取扱量の推移のグラフから，中国のコンテナ取扱量の増加した理由や背景を考察し，説明することができる。	・さまざまな情報手段を用いて，現在世界で起こっている国境・領土問題について調べ，現状と課題をまとめることができる。 ・教科書のワークに積極的に取り組み，考えようで設定されている問いについて考察し，話し合うことができている。 ・交通・情報・通信手段の発達過程や，それらの発達による地域間の相対的な位置・距離関係の変化に，関心をもつことができる。 ・物流の発展に伴う恩恵を，身近な例を挙げながら説明することができる。 ・グローバル化の中で，人・「もの」・資本の国際間移動の複雑化や，国家的結びつきの変化に気づき，意識づけて学ぶことができる。
第２編 国際理解と国際協力　１章 生活・文化の多様性と国際理解 １節 持続可能な社会を目指して ２節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて ３節 自然と調和した豊かな社会に向けて ４節 現役世代と将来世代のための地球 ５節 平和で公正な社会に向けて	①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候 ③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々との共生	・人々の生活に彩りを与える気候のメカニズムについて理解し，気候要素と気候因子の関係性について整理することができている。 ・なぜ世界にさまざまな気候が見られるのかを理解し，気候区ごとの生活の特徴を，知識として身につけている。 ・世界の伝統的な衣食住は，その地域の自然環境の影響を受けて成立していることを理解している。 ・グローバル化の中で，伝統的な産業の１つの地場産業が生き残りをかけてブランド化に取り組んでいることを，具体的な事例を通して知る。 ・世界の宗教の分布とそれぞれの特徴を知識として身につけ，グローバル化の中で多様なアイデンティティを持つ人々と共生するために必要な異文化理解の重要性を理解する。 ・異文化理解と多文化共生の考え方が重要であることを理解する。	・特徴ある２枚の景観写真を見比べて，どのような要素が異なり，どのような要素が同じか，それぞれ正確に読み取って説明することができる。 ・世界各地に現象面として現れる自然環境の地域性について，成因とからめておおまかにとらえ，その地域の産業とも結びつけて考えることができる。 ・各気候帯の雨温図から，その地域の気候の特徴を読み取り，人に説明することができる。 ・食物の伝播の過程や食物の保存方法の発展など，歴史的経緯が現在の食文化を形作っていることを理解している。 ・世界のさまざまな宗教の違いを理解し，その違いを尊重した交流の重要性について考察することができる。 ・多様性に富んだ人々との共生には異文化理解と多文化共生の考え方が重要であることを理解し，そのためにできることを考察し，話し合うことができる。	・図書館の本やインターネットから，世界の生活･文化を示した写真を探し，地理的環境との関連を読み取ることができる。 ・世界の自然環境ついて，なぜ現在のような分布になったのか，関心をもつことができる。 ・教科書に掲載された世界各地の衣服の写真について，その撮影場所を推測し，結果を話し合って整理することができる。 ・世界の人々の生活様式について，興味をもつことができる。 ・世界のさまざまな食材や食事の写真を見て，自分たちの食事との違いを見つけ，発表することができる。 ・世界の農業地域が，なぜ現在のように分布しているのか，自然環境とも結びつけながら，関心をもって学習することができる。

	①持続可能な開発目標（SDGs） ②地球的課題の地理的な側面 ①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題 ①技術革新と持続可能な産業化 ②限りある資源 ③エネルギー問題 ④都市・居住問題 ①地球温暖化問題 ②陸地の環境問題 ③海洋の環境問題 ①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ	・国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標と地理で学習する地球的課題の関係を理解できる。 ・先進国と発展途上国で対照的な問題があることを理解できる。 ・人口爆発と少子高齢化のように，先進国と発展途上国で対照的なあらわれ方をしていることを理解する。 ・資源には限りがあり，偏在していることに気づき，世界のエネルギー利用の変化を理解し，新エネルギー開発と利用の必要性について考えることができる。 ・発展途上国ではスラム，先進国ではインナーシティ問題が現れていることを理解できる。 ・地球環境問題のうち，地球温暖化や陸地と海洋の環境問題に分けて学び，世界で見られる課題とその対策の現状について理解できる。 ・多文化社会を構成して多民族が共生している国もあれば，内部に対立を抱える国も存在することを理解できる。	・持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けては，「地球規模で考え，足元からの行動を」（Think globally act locally）の考え方が重要であることを理解し，それらは個人の態度だけでなく，国家や地方自治体，企業などにも求められる姿勢であることを考察することができる。 ・人口問題，食料問題，居住・都市問題，資源・エネルギー問題，地球環境問題などの地球的課題について，地域性をふまえて考察でき，その問題の所在や解決の方向性について，考えることができる。 ・世界には感染症に苦しむ多くの人々がおり，技術開発や資金協力などについて，身近でできる貢献について調べることができる。 ・酸性雨・地球温暖化・森林破壊と種の減少・砂漠化を例にあげて理解を深め，世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを考えることができる。	・人間が直面する地球的課題にはどのようなものがあるかに，まずは関心を持つことができる。 ・インターネットなどを使って，持続可能な開発目標（SDGs）に向けた国際社会の取組や日本企業の取組などに関心を持って調べることができている。 ・地球的課題は，課題相互に関連しあっており，解決のためには，個別の対応では難しいことに関心をもつことができる。 ・身の回りに見られる再生可能エネルギーについて，そのメリットとデメリットを比較して，持続可能な社会に必要なエネルギー構成を構想する姿勢があらわれている。 ・通学路や学校周辺の空き家など，身の回りの都市問題に関心を持ち，地域の課題解決に向け学習した内容を振り返ろうとする態度が身についている。 ・解決策の具体例について,インターネットや関連団体・役所などから資料を集めることができる。
第３編 持続可能な地域づくりと私たち １章 自然環境と防災	①地球規模で見る地形の姿と自然災害 ②人々の暮らしを取りまく自然環境 ③変動帯の自然と防災 ④湿潤地域の自然と防災 ⑤私たちができる災害への備え	・世界の大地形を大きく変動帯と安定大陸に分類する意味を理解している。 ・Google Earthのように世界の衛星画像が閲覧できるアプリケーションソフトなど，GISを用いて世界のさまざまな地形的特徴を把握することができる。 ・４つのプレートがぶつかり合う日本列島では，プレート境界地震と活断層地震の２つに備えなければならないことを理解できる。 ・火山噴火への備えと同時に，火山とともに暮らす文化が伝統的に営まれていることを理解する。 ・新旧地形図の比較から，地域で想定される自然災害を想像することができている。 ・変動帯に位置し降水強度が高い日本列島は，降水による山地の崩壊により土砂が生じ，河川下流部の平地が形成されてきたことを，その成因とともに理解できる。	・世界の変動帯とプレート境界の図と，世界の地震分布・火山分布の図を比較して，その共通性について考察を深めることができている。 ・世界を変動帯と安定大陸に大きく分けることの意味について考察することができている。 ・地形と人々の生活とのかかわりについて，歴史的背景を踏まえ近代の生活環境の変化に着目することができている。 ・ハザードマップを読み解き，災害時の行動をシミュレーションするＤＩＧに取り組むことで，地域の危険な場所について発表し，レポートにまとめることができる。 ・人々の生活に大きな影響を与える火山災害，水害，地震について，現象やこれまで受けてきた被害を理解するとともに，先人の知恵と工夫が詰まった災害に備え，災害とともに暮らす生活について考察できる。	・日本の自然環境について，世界の中で位置づけて，日本の地形や気候などに関心をもって学習することができている。 ・日本の各地域の生活を，気候・地形などの自然条件から確認していくことに興味をもつことができている。 ・火山の恵みを受けた生活文化について，インターネットや図書館の資料などを通して調べ，レポートにまとめることができる。 ・身近な微地形の変化に目を向け，暮らしとの関連性を見出そうと意欲的に取り組んでいる。 ・身近な地域で起こりやすいとされている災害に対し関心を持って学習し，地域の防災・減災に向け貢献しようと積極的に取り組んでいる。 ・気象庁のWebサイトにアクセスし，土砂災害警戒情報や警報の発令条件などを確認し，いざという時の備えを意識することができている。
２章 生活圏の調査と地域の展望	①地域調査の方法	・地域調査の一環として，的確に資料を集めたり，現地調査を行ったりすることができる。 ・地域調査の方法を，的確に身につけている。 ・ハザードマップの読図や統計地図の用い方を，作業などをとおして身につけている。	・地域調査の結果をＧＩＳを使った地図やグラフ化したり，報告書をまとめ発表したりすることができる。 ・成人年齢が18歳になることを踏まえ，地域調査を通して，地域の課題に対する地方自治体の政策を調べ，主権者として地域の諸課題を解決する方法について考察を深めることができている。	・地域調査について，なぜ必要かを理解したうえで，調査の基本をマスターし，積極的に調査を行おうとしている。
観点別評価に対する評価方法		用語などに関する出題から，知識・技能の定着の実態を把握する。	論述問題などにより，思考・判断・表現能力を見る。	討論や発表、ワークシート

令和5年度シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰα	単位	2（4）
学科	土木科	学年	1年		
教科書	新編　数学Ⅰ	補助教材	ステージノート数学Ⅰ　新課程 新課程　練習ドリル　数学Ⅰ　基本から標準編		
科目の概要と目標	数と式、図形と計量、２次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式	多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解　実数 根号を含む式の計算 不等式の性質 １次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 集合　　命題と条件 命題と証明	簡単な無理数の計算の技能を身に付けている。 集合と命題の概念を理解している。 乗法公式や因数分解の公式を適用する技能を身に付けている。 不等式の性質を用いて１次不等式を解く技能を身に付けている。	不等式の性質を基に１次不等式を解く方法を理解している。 日常の事象を数学的に捉えて１次不等式を問題解決に活用できることを理解している。 集合の考えを用いて命題を考察することを理解している。	数と式の考えを用いて事象を考察する良さを認識し問題解決しようとしたり、粘り強く考え数学的根拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
２次関数	関数とグラフ ２次関数のグラフ ２次関数の最大・最小 ２次関数の決定 ２次方程式 ２次関数のグラフとx軸の位置関係 ２次不等式	２次関数とそのグラフの特徴を理解し、２次関数の頂点から最大値や最小値を求める方法が身に付いている。 ２次方程式の解と２次関数のグラフとの関係および２次不等式の解と２次関数のグラフとの関係を理解している。	２次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどのICT機器を利用して考察しようとしている。 日常の事象を数学的に捉えて問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしようとしている。	２次関数の考えを用いて事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用したり、数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 課題テスト 課題	定期考査 課題テスト 課題	学習状況 振り返りシート

令和5年度シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰβ	単位	2（4）
学科	土木科	学年	1年	担当	寺崎
教科書	新編　数学Ⅰ	補助教材	ステージノート数学Ⅰ　新課程 新課程　練習ドリル　数学Ⅰ　基本から標準編		
科目の概要と目標	数と式、図形と計量、２次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図形と計量	三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張 正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形への応用	鋭角および鈍角の三角比の意味と相互関係について理解している。 正弦定理や余弦定理及び正弦を利用した三角形の面積の公式について理解し、それらを用いて三角形の辺や角の大きさ及び面積などを求める技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現することができ、定理や公式を導く過程を理解している。 日常の事象を数学的に捉え、問題を解決したり事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしている。	三角比を用いて事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
データの分析	データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 ２つの変量の間の関係 仮説検定の考え方	代表値、分散、標準偏差及び相関係数などの用語の意味を理解している。 データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの統計量を求めたりする技能を身に付けている。 仮説検定の考え方を理解している。	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を理解している。 複数の種類のデータを収集し分析する方法を理解している。 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、批判的に考察しようとしている。	データの分析を通して事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 課題テスト 課題	定期考査 課題テスト 課題	学習状況 振り返りシート

令和５年度シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	単位	3
学科	土木	学年	1年		
教科書	第一学習社　高等学校 新化学基礎	補助教材	第一学習社　新課程版　ネオパルノート化学基礎		
科目の概要と目標	物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
序編　科学と人間生活	・日常生活や社会を支える身近な物質 ・物質を対象とする学問である化学の特徴	化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。	物質の性質を調べる活動において，科学的に探究する方法を提案したり，実験結果を科学的に判断したりしている。	日常生活や社会を支える身近な物質に注目し，科学に対する興味・関心を高め，意欲的に取り組もうとしている。
第1章　物質の構成	・実験の基本操作 ・単体や化合物 ・粒子の熱運動と絶対温度 ・原子の構造 ・元素の周期律 ・イオン結合の物質の性質 ・共有結合の物質の性質 ・金属結合の物質の性質 ・分子の性質	・物質が混合物と純物質，および単体と化合物に分けられることを理解し，その違いを理解している。 ・イオンの生成を理解し，イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。 ・各結晶の性質について理解し，知識を身に付けている。	・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 ・ 物質の性質を調べる実験を通して，化学結合と結晶の性質の関係を考察している。 ・観察・実験の過程から，自らの考えを導き出した報告書を作成したり，発表したりしている。	・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち，意欲的に物質を探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い，意欲的に探究しようとしている。
第2章　物質の変化	・物質量と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係 ・溶解と濃度 ・化学反応式と量的関係 ・酸と塩基の性質 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応の量的関係 ・塩の性質 ・中和滴定曲線 ・酸化還元反応 ・酸化剤や還元剤 ・金属のイオン化傾向 ・電池や電気分解	・物質量と粒子数、質量、気体の体積、モル濃度との関係を理解している。 ・化学変化の量的関係を把握する方法を理解し，知識を身に付けている。 ・酸と塩基の定義や分類を理解している。 ・中和反応に関与する物質の量的関係を理解している。 ・ 酸化・還元の定義を理解し，知識を身に付けている。 ・酸化剤，還元剤のはたらきを理解している。 ・酸化還元反応の利用例として，電池や電気分解などがあることを理解し，電池の構成などの基本的な知識を身に付けている。	・化学変化では，一定の量的関係が成り立つことを理解し，化学反応式をもとに物質の量的関係を判断している。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い，結果を化学的に考察している。 ・酸・塩基の観察，実験から共通性を見いだし，酸・塩基の定義を理解し，日常生活と関連付けて考察している。 ・中和滴定の実験を通して，それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し，実験結果に対してどのような影響があるかを考察している。 ・観察，実験を通して，酸化・還元の定義と，酸化数の定義の有効性を理解し，それらをもとに事物・現象の中に共通性を見出し，酸化還元反応として論理的に考察している。	・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち，意欲的に物質を探究しようとしている。 ・化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとしている。 ・酸，塩基や中和反応に関心をもち，それらを日常生活に関連付けて，意欲的に探究しようとしている。 ・酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとしている。 ・燃焼，金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち，電子の授受という観点から，それらを意欲的に探究しようとしてる。 ・ 酸化還元反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとしている。
終章　化学が拓く世界	・水道水 ・食品の保存 ・洗剤 ・リサイクル	・「化学基礎」で学んだ事柄が，日常生活や社会を支える科学技術と結びついていることを理解している。	・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会でどのようにいかされているかを教科書の題材以外にも範囲を広げて考察している。	・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し，意欲的に探究しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		・発問評価 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・実験レポート ・小テスト ・定期考査

令和５年度シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位	3
学科	土木科	学年	１年		
教科書	大修館「新高等保健体育」	補助教材	大修館「Active Sports 2023」		

科目の概要と目標	・運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ・自己や仲間の課題や練習方法について伝え、運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようにする。 ・ルールやマナーを大切にして、運動に自主的に取り組もうとする。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体つくり運動	体の使い方の気付き 体の動きを高める運動 効率の良い組合わせの実践 バランスの良い組合わせの実践	運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体つくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、話合いに貢献しようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
体育理論	スポーツの発祥と成立	・スポーツは，人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと，近代になって，スポーツは娯楽から競技に変化し，一般の人びとに広がっていったこと，現代では，競技だけでなく，広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており，その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について，事実や理念を整理したり，自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして，自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について，習得した知識を基に，持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて，自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に，主体的に取り組もうとしている。
	スポーツ文化の発展と現代社会			
	オリンピック・パラリンピックと国際社会	・現代のスポーツは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており，その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
	スポーツの経済効果とスポーツ産業	・現代のスポーツの経済的効果には，スポーツの実施による直接的な効果のみならず，例えば，スポーツ用品，スポーツに関する情報やサービス，スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果，スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり，経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
	スポーツに求められる高潔さ	・競技会での勝利が個人や国家等に多大な利益をもたらすようになるとドーピング（禁止薬物使用等）が社会問題として取り上げられるようになったこと，ドーピングは不当に勝利を得ようとするフェアプレイの精神に反する不正な行為であり，能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせる行為であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
	持続可能性からみたスポーツと環境	・スポーツに関わる人々の増加は，例えば，地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		

選択領域（A,Bの中から１領域以上選択）					
陸上競技・・・A	走・跳・投の基礎基本 短距離走 リレー	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分に高めることができる。	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
ダンス・・・B	創作ダンス 発表会	○知識 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。	○技能 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。	表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
選択領域（C,Dの中から１領域以上選択）					
球技・・・C 【ゴール型】 サッカー バスケットボール ハンドボール	基本技能 課題に応じた練習 簡易ゲーム	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間に考えたことを他者に伝えている。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
【ネット型】 テニス バレーボール バドミントン			○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。		
【ベースボール型】 ソフトボール			○技能 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。		
【武道】 ・・・D 柔道	伝統的な考え方 基本動作 連絡技 簡易試合	○知識 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。	○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
剣道	伝統的な考え方 基本動作 しかけ技・応じ技 簡易試合		○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。		
観点別評価に対する評価方法		観察 技能テスト 学習カード		観察（発表、話合い、発言） 学習カード	観察（発表、話合い、発言） 学習カード

令和5年度シラバス

教科	英語	科目	英語コミュニケーションI	単位	3
学科	土木科・生活環境科	学年	1年		
教科書	LANDMARK Fit	補助教材	Workbook、補助ワークシート		

科目の概要と目標	興味深いトピックを通じて、英語を「聞く」「読む」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」力の総合的育成を目指す。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Lesson1 Enjoy Your Journey	新生活における目標設定をする。話の要点を聞き取ったり、読み取ったりする。	[知識]不定詞、動名詞の理解。[L、R]新生活での目標設定について要点を捉えることができる。	[L]写真等の支援があれば必要な情報を理解できる。 [S、W]学んだ表現を用いて自分の目標を表現できる。	[S,W]自分の目標を伝えたり、友人の目標を聞き取ろうとする意欲が見られる。
Lesson2 Curry Travels around the World	カレーの伝播とレシピの変遷について、要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]受動態、現在完了形の理解。[L、R]食文化の変遷を聞き取ることができる。	[L]写真等の支援があれば必要な情報を理解できる。 [S,W]自分の好きなカレーについて伝えられる。	[R]自分の好きなカレーについて伝え合おうとする意欲が見られる。
Lesson3 School Uniforms	世界の学校における制服事情について、要点を聞き取ったり読み取ったりする。文化を比較する。	[知識]比較級、分詞の形容詞用法、関係代名詞thatの理解。[L、R]制服に関する意見を理解することができる。	[S,W] 制服は必要か、賛成意見と反対意見を述べることができる。学んだ表現を使える。	[W,S]制服の是非について、発表したり、人の意見を聞いたりする意欲が見られる。
Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima	屋久島エコツアーと自然環境保護について、要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]関係代名詞what,関係副詞の理解。[L,R]屋久島エコツアーを文面で疑似体験し、イメージをつかめる。	[S、W]興味がある世界自然遺産について、学んだ表現を用いて説明できる。	[S,W]世界自然遺産について主体的に調べて伝えようとする意欲が見られる。
Lesson 5 Baily the Facility Dog	病院で働くファシリティドッグの役割について要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]不定詞の用法、間接疑問文、知覚、使役動詞の理解。[L,R]ファシリティドッグの仕事を理解できる。	[S,W]学んだ表現を用いてファシリティドッグに対する自分の考えを説明できる。	[S,W]ファシリティドッグが病院にいることについての意見を伝え合おうとする意欲がある。
Lesson 6 Communication without Words	世界の非言語コミュニケーションについて、要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]be動詞の補語that節、対比のwhile,形式目的語it,間接疑問文の理解。[L,R]非言語コミュニケーションの具体例を理解できる。	[L、S]イラスト等の支援があれば、非言語コミュニケーションの具体例を把握できる。	[L、S]非言語コミュニケーションについて、具体例を推測しようとする意欲が見られる。
Lesson 7 Dear World: Bana's War	シリアの7歳がSNSで世界に発信した平和メッセージの要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]関係代名詞、関係副詞の非制限用法、現在分詞の分詞構文などの理解。 [L,R]シリアで起こっていることを理解できる。	[L、R]シリアで起こっていることについて知識を深め、自分ができることを考える。	[S,W]インターネットの利点と欠点について、伝え合おうとする態度が見られる。
Lesson 8 The Best Eduction to Everyone, Everywhere	社会企業家の思いと挑戦を読んで、要点を聞き取ったり読み取ったりする。	[知識]less比較表現、過去完了形、仮定法過去の理解。 [L,R]教育支援の方法と効果を理解できる。	[S,W]学んだ表現を用いて、将来の夢や社会貢献について表現できる。	[S,W]将来どのように社会に貢献したいかを伝え合おうとする意欲が見られる。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 パフォーマンステスト ワークシート	学習の振り返り パフォーマンステスト 課題等の提出状況 観察

令和５年度シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位	2
学科	土木科	学年	1年		
教科書	大修館書店「Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう」	補助教材	富山県教育委員会「とやまの高校生ライフプランガイドー未来をクリエイトしようー」		

科目の概要と目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて学ぶ。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 人の一生と家族・家庭及び福祉	・生活のマネジメント ・青年期の課題と自立 ・家族・家庭生活のマネジメント	家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と社会との関わりについて理解している。	ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活実践に向けた計画を考え、工夫している。	生涯を見通し主体的に生活するために、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	・子供の生活と子育てのマネジメント ・高齢期の生活のマネジメント ・共生社会をつくる	乳幼児との関わりや高齢者の生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。	家庭や地域及び社会の一員として共に支え合って生活することの重要性についについて、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	様々な人々と協働し、子供の健やかな発達や高齢期の自立について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
B 衣食住の生活の自立と設計	・食生活のマネジメント ・衣生活のマネジメント ・住生活のマネジメント	ライフステージに応じた衣食住の生活について理解し、自己や家族の生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	安全や健康、環境に配慮した衣食住の生活について実践に向けた計画を考え、工夫している。	自分や家庭、地域の衣食住の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
C 持続可能な消費生活・環境	・持続可能な社会をつくる ・経済生活のマネジメント	家計管理や契約の重要性、持続可能な消費について理解している。	責任ある消費について問題を見いだして課題を設定している。	課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・生活をデザインする ・ホームプロジェクト ・学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	実践を評価したり、改善したりしている。 課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現している。	課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 作品 ワークシート等 ホームプロジェクト	定期考査 ワークシート等 ホームプロジェクト	ワークシート等 ホームプロジェクト

令和５年度シラバス

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位	2
学科	土木科	学年	1年		
教科書	実教出版「工業技術基礎」	補助教材	なし		
科目の概要と目標	工業における基礎的技術を総合的な実験・実習によって体験し，各分野における工業技術に関する広い視野を養い，工業の意義や役割を理解させ，工業の発展をはかる意欲的な態度を育てる。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
＜導入編＞	・人と技術と環境	工業にたずさわる人と社会とのかかわり及び，これからの工業技術が担う役割について理解し，実体験の必要性を学び，その改善向上をめざす実践的な知識と技能を身につけている。また，産業構造や就業構造について理解し，専門技術者には職業資格の取得が必要なことを理解している。		工業にたずさわる人と社会とのかかわり及び，今後工業技術が担う役割について興味・関心を持ち，その改善向上をめざして主体的に取り組む実践的な態度を身につけている。また，職業資格の取得を目指し，意欲的に取り組む実践的な態度を身につけている。
	・事故防止と安全作業の心がまえ	教科「工業」では，実験・実習の学習が展開されるので，科目「工業技術基礎」を通して，事故防止と安全作業に関する知識の大切さをよく理解させ，そのための技能を身につけている。	教科「工業」では，実験・実習の学習が展開されるので，科目「工業技術基礎」を通して，事故防止と安全作業について常に思考・判断し，その改善向上につ役立つ適切な表現力を身につけている。	教科「工業」では，実験・実習の学習が展開されるので，科目「工業技術基礎」を通して，事故防止と安全作業に主体的に興味・関心を持ち，その改善向上をめざして意欲的に取り組む実践的な態度を身につけている。
＜基本作業編＞	・図面の表し方	製図における基本的な図面の見方や表し方やかき方を理解し，正確な図面の作成に関する知識と技能をしっかりと身につけている。	製図における基本的な図面の見方や表し方やかき方について，適切に思考・判断し，正確な図面を作成する表現手法をしっかりと身につけている。	製図における基本的な図面の見方や表し方やかき方に興味・関心を持ち，正確な図面の作成に意欲的に取り組む態度をしっかりと身につけている。
	・寸法のはかりかた ・工具の扱いかた	・測定器の使い方と使用上の留意点について正しい知識を持ち，正しい寸法測定の方法をしっかりと身につけている。 ・必要に応じた工具の正しい選定や使用方法の知識を習得し，安全に配慮した作業方法の技能をしっかりと身につけている。	・測定器の使い方と使用上の留意点について，適切に思考・判断し，正しい寸法測定法にて実践し，その手法を相手に伝える表現法をしっかりと身につけている。 ・必要に応じた工具の正しい選定や使用方法を適切に思考・判断し，安全を優先させた作業法を表現する技量を身につけている。	・測定器の使い方と使用上の留意点について，主体的に興味・関心を持ち，正しい寸法測定法の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。 ・必要に応じた工具の正しい選定や使用方法に主体的に興味・関心を持ち，安全に配慮して意欲的に作業に取り組む態度を身につけている。
	・測量について学ぼう	測量技術の知識を習得し，測量実習を行うことによりその技能を習得して，日常的な測量の意義や役割を身につけている。		主体的に測量に関する基礎的な技術について関心を持ち，意欲的に測量器械を活用する創造的，実践的な態度をしっかりと身につけている。
	・化学実習の基本操作について学ぼう	化学実験の基本操作の学習に関する知識と技能を身につけ，生産活動における化学実験・実習の社会的意義や役割を身につけている。		化学実験の基本操作の学習を通して，化学工業に関する基礎的な技術に関心を持ち，主体的に学び，安全で合理的な化学反応操作を工夫する実践的な態度を身につけている。
観点別評価に対する評価方法		確認テスト	作品・報告書・レポート	学習状況 報告書・レポート

令和５年度シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位	2
学科	生活環境科	学年	1年		
教科書	数研出版「新編　現代の国語」	補助教材	漢字問題集、辞書など		

科目の概要と目標	「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書き手の意図をつかむ	目指す世界の地図を作る ものづくり	話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、情報を整理して、伝え合う内容を検討している。	筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
文章の展開を把握する	時間とは何か 地球を旅する水の話	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	筆者の考えを粘り強く理解し、適切な表現を用いて、学習課題に沿って論理的にまとめようとしている。
対比を読み取る	水の東西 里山物語	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
コミュニケーションと言葉	世間話はなぜするか 非言語コミュニケーション	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	具体的な事例について筆者の主張をもとに粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
言葉の働きをとらえる	語感トレーニング コインは円形か	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。
書き手の考えを比較する	科学と非科学 科学的とはどういう意味か	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。	粘り強く筆者の意見を理解し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		小テスト 定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 振り返りシート	発表 授業態度 ワークシート 振り返りシート

令和５年度シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位	2
学科	生活環境科	学年	1年		
教科書	数研出版　「新編　言語文化」		補助教材	辞書、書いておどろく古典文法基礎編	

科目の概要と目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域の「ことば」	とんかつ	文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。	積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。
古文の世界を楽しむ	説話集を読む楽しみ 児のそら寝 検非違使忠明	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとしている。
「ことば」を吟味する	舟を編む	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。
現代にも生きる教え	ジョブズと『徒然草』 高名の木登り ある人、弓射ることを習ふに 丹波に出雲といふ所あり	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	進んで本文を自分と引きつけて捉え、学習の見通しをもって話し合いに参加しようとしている。
日本語の中に生きる漢文（ズームアップ　漢文由来の名付け）	訓読のきまり 格言	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。
受け継がれる古典	羅生門 探究の扉 今昔物語集	文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、考察しようとしている。
昔と変わらない人の心	とりあえず、男がいた 芥川 筒井筒	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	和歌に込められた心情を解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直すことができる。	登場人物の行動や状況について積極的に自分と引きつけて捉え、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。
和歌が作り出す世界	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 探究の扉　和歌を訳す	本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。	「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。	和歌の訳例を進んで鑑賞しておもしろみを見出し、学習課題に沿ってオリジナル訳の作成に取り組もうとしている。
故事と成語（ズームアップ　故事成語の用例を探そう）	故事成語を学ぶ 助長 漁夫の利 虎の威を借る狐	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。
観点別評価に対する評価方法		小テスト　定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	発表　ワークシート 振り返りシート

令和５年度シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位	2
学科	生活環境科	学年	1年		
教科書	第一学習社「高等学校　地理総合」 帝国書院「新詳高等地図」	補助教材	なし		
科目の概要と目標	社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第１編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第１章 私たちが暮らす世界	1 緯度・経度 2 地球儀と世界地図 3 日本の位置と領域	・世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。	・地球上の位置に関する事柄について，緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。
第２章 地図や地理情報システムの役割	4 地図の種類 5 地形図のルール 6 主題図の種類と読み取り	・地図についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。	・さまざまな地図について，縮尺・媒体・用途などに着目し，適切に整理している。 ・さまざまな統計数値を，適切な主題図で表現している。 ・GIS を操作し，計測結果や主題図を表示している。	・紙の地図やGIS に対する関心を高め，閲覧や作業を通して，それらの特徴をとらえようとしている。
第３章 資料から読み取る現代世界	8 交通の発達 9 情報通信の発達 10 国境をこえる人々の移動 11 拡大する貿易 12 つながる世界，多極化する世界	・交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・交通・通信手段や貿易構造の変化，世界の国家群の特徴などについて，地図や図表の読み取りを通じて理解を深めている。 ・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動，世界の国家群などについて，地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・交通・情報通信が国境をこえて結び付き，その結び付きがますます強固になっていることについて，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・貿易や観光などにみられる国境をこえたモノや人の動きについて，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・グローバル化の加速によって形成された地域経済圏や国家群について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	・交通・通信の発達による社会の変化と，それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・グローバル化の進む現代世界において，政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。

第２編 国際理解と国際協力 第１章 人々の生活文化と多様な地理的環境 １節 生活文化の多様性と国際理解 ２節 生活文化と自然環境 ① 地形 ３節 生活文化と自然環境 ② 気候 ４節 生活文化と産業	13 文化の地域性と多様性 14 宗教と人々の暮らし 15 山地の暮らし 16 平野の暮らし 17 海岸の暮らし 18 多様な気候とその分布 19 熱帯の人々の暮らし 20 乾燥帯の人々の暮らし 21 温帯の人々の暮らし 22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし 23 食生活と農業の分布 24 工場立地の変化 25 商業立地と人々の生活 26 情報産業の発達と生活文化の変化	・世界にみられる多様な文化について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・文化の違いがなぜ生じるかということについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地，それらの変化について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・地域の文化や人々の暮らし，産業の違いを，それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて，関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。
第２章 さまざまな地球的課題と国際協力 １節 地球環境問題 ２節 資源・エネルギー問題 ３節 人口問題 ４節 食料問題 ５節 居住・都市問題 ６節 民族問題 ７節 持続可能な社会の実現をめざして	27 地球環境問題(1) 28 地球環境問題(2) 29 資源・エネルギーの偏在 30 化石燃料から再生可能エネルギーへ 31 発展途上国の人口問題 32 先進国の人口問題 33 食料需給をめぐる問題 34 発展途上国の居住・都市問題 35 先進国の居住・都市問題 36 民族問題・難民問題 37 地球的課題と国際協力	・世界にみられる多様な文化について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・文化の違いがなぜ生じるかということについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地，それらの変化について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・地域の文化や人々の暮らし，産業の違いを，それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて，関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。
第３編 持続可能な地域づくりと私たち 第１章 自然環境と防災 １節 日本の自然環境の特色 ２節 さまざまな自然災害と防災	38 日本の地形の特色 39 日本の気候の特色 40 地震災害・津波災害(1) 41 地震災害・津波災害(2) 42 火山の災害とめぐみ 43 気象災害(1)寒さ・暑さと台風 44 気象災害(2) 大雨と洪水・土砂災害 45 都市と自然災害 46 防災・減災と復旧・復興	・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。	・地球的な課題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。
第２章 生活圏の調査と地域の展望	47 調査テーマの設定 48 地域調査１（資料調査） 49 地域調査２（野外調査） 50 まとめと発表	・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。	・身近な地域の特徴を，設定したテーマに沿ってとらえ，明らかになったことを適切に表現している。	・身近な地域の特徴を明らかにするために，意欲的に地域調査に取り組もうとしている。
観点別評価に対する評価方法		用語などに関する出題から，知識・技能の定着の実態を把握する。	論述問題などにより，思考・判断・表現能力を見る。	討論や発表、ワークシート

令和5年度シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位	3
学科	生活環境科	学年	1年		
教科書	新編　数学Ⅰ	補助教材	ステージノート数学Ⅰ　新課程 新課程　練習ドリル　数学Ⅰ　基本から標準編		
科目の概要と目標	数と式、図形と計量、２次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式	多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解　実数 根号を含む式の計算 不等式の性質 １次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 集合　命題と条件 命題と証明	簡単な無理数の計算の技能を身に付けている。 集合と命題の概念を理解している。 乗法公式や因数分解の公式を適用する技能を身に付けている。 不等式の性質を用いて１次不等式を解く技能を身に付けている。	不等式の性質を基に１次不等式を解く方法を理解している。 日常の事象を数学的に捉えて１次不等式を問題解決に活用できることを理解している。 集合の考えを用いて命題を考察することを理解している。	数と式の考えを用いて事象を考察する良さを認識し問題解決しようとしたり、粘り強く考え数学的根拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
２次関数	関数とグラフ ２次関数のグラフ ２次関数の最大・最小 ２次関数の決定 ２次方程式 ２次関数のグラフとx軸の位置関係 ２次不等式	２次関数とそのグラフの特徴を理解し、２次関数の頂点から最大値や最小値を求める方法が身に付いている。 ２次方程式の解と２次関数のグラフとの関係および２次不等式の解と２次関数のグラフとの関係を理解している。	２次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどのICT機器を利用して考察しようとしている。 日常の事象を数学的に捉えて問題を解決したり、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしようとしている。	２次関数の考えを用いて事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用したり、数学的論拠に基づき判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
図形と計量	三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張 正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形への応用	鋭角および鈍角の三角比の意味と相互関係について理解している。 正弦定理や余弦定理及び正弦を利用した三角形の面積の公式について理解し、それらを用いて三角形の辺や角の大きさ及び面積などを求める技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現することができ、定理や公式を導く過程を理解している。 日常の事象を数学的に捉え、問題を解決したり事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりしている。	三角比を用いて事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
データの分析	データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 ２つの変量の間の関係 仮説検定の考え方	代表値、分散、標準偏差及び相関係数などの用語の意味を理解している。 データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの統計量を求めたりする技能を身に付けている。 仮説検定の考え方を理解している。	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を理解している。 複数の種類のデータを収集し分析する方法を理解している。 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、批判的に考察しようとしている。	データの分析を通して事象を考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 課題テスト 課題	定期考査 課題テスト 課題	学習状況 振り返りシート

令和5年度シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位	2
学科	生活環境科	学年	1年		
教科書	数研出版 新編 生物基礎	補助教材	数研出版 新課程 リードLightノート生物基礎		

科目の概要と目標	・日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
予備学習	顕微鏡の基本操作・観察 ミクロメーターによる測定 顕微鏡の像のスケッチ。	実験器具を正しく扱い，安全に実験を行っている。	顕微鏡を用いてタマネギの表皮を観察し，スケッチしている。	顕微鏡を用いてタマネギの表皮を観察し，どのような構造，働きがあるか見つけ出そうとしている。
生物の特徴 生物の多様性と共通性	脊椎動物の四肢の有無，呼吸の仕方，殖え方などの特徴について考える。生物の基本的な特徴を理解する。	共通祖先から由来した生物が共通の特徴をもつことについて理解している。細胞の構造と真核細胞，原核細胞について理解している。	脊椎動物の特徴の比較から，生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだして考察している。	脊椎動物の特徴の比較を主体的に考察して表現しようとしている。
生物の特徴 エネルギーと代謝 呼吸と光合成	生活のさまざまな場面でエネルギーを利用していることに気づき、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。	ATPが呼吸や光合成など生体内で,エネルギーの受け渡しに必ず関係することを理解している。	ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し，ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解している。	生命活動はエネルギーを用いていることを，実習1通して日常生活と関連付けて考察しようとしている。
遺伝子とその働き 遺伝情報とDNA	遺伝情報を担うのが遺伝子であり，遺伝子の本体はDNAであることを理解する。	遺伝は遺伝物質であるDNAによって担われていることを理解している。	実験を通して、生物にはDNAが共通して存在することを思考している。	実験に主体的に取り組もうとしている。
遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配	塩基の相補性によりDNAが正確に複製されることを理解する。	DNAの複製のしくみは，原核生物，真核生物を問わず，すべての生物で共通していることを理解している。	DNAの2本鎖が解離した状態と複製後の状態を示す資料から，塩基の相補性がDNAの複製のしくみに関わっていることを見いだしている。	DNAの一方のヌクレオチド鎖の塩基配列により他方のヌクレオチド鎖の塩基配列が決まることに気付き，表現しようとしている。
	細胞周期の概要を理解し、複製されたDNAが正確に分配されることを理解する。	細胞周期の間期にDNAの複製が行われ，分裂期にDNAが等しく分配され，結果としてどの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解している。	思考学習を通して、細胞周期の各時期がグラフにどう現れるか思考している。 間期の細胞と分裂期の細胞の数をグラフから計算している。	DNAの分配について，学習した用語どうしのつながりを整理し，振り返ろうとしている。
遺伝子とその働き 遺伝情報の発現	タンパク質の構造やアミノ酸の構造について基本的事項を理解する。	アミノ酸の種類と並び方によって，多様なタンパク質が生じることを理解している。	アミノ酸について，配列の違いによって生じ得るペプチドの種類を思考している。	身近な食材にタンパク質が含まれていることに気づき表現している。
	タンパク質の合成過程から遺伝子の発現を関連づける。	遺伝子とその働きについて，遺伝情報とタンパク質の合成のことを理解するとともに，遺伝子の発現に関連づけている。	タンパク質合成について，DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。	個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが，細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを主体的に考察している。
ヒトの体内環境の維持 体内での情報伝達と調節	体内環境と体液の関係について理解するとともに、神経系が体内環境に関わっていることを理解する。	神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解している。体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを理解している。	実験3の運動の前後の呼吸数や脈拍数などの体の変化から，体には体内環境の変化という情報を伝達する経路があることに気付き，考察している。	実験3の結果を主体的に考察して表現しようとしている。
ヒトの体内環境の維持 体内環境の維持のしくみ	体内環境を一定に保とうとする調節のしくみを理解する。	内分泌腺や分泌されるホルモン，その作用について理解している。ホルモンの受容や機能するしくみについて理解している。	血糖濃度の変化とインスリン，グルカゴンのはたらきとの関係を考察している。	血糖濃度の調節のしくみについて，学習した用語どうしのつながりを整理し，振り返ろうとしている。
ヒトの体内環境の維持 免疫のはたらき	免疫について，免疫の働きのことを理解するとともに，異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだす。	免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解している。一次応答と二次応答のしくみと，免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解している。	免疫の働きについて，問題を見いだし，科学的に考察し表現している。一次応答と二次応答における抗体生産量の変化を示した資料から，同じ疾患に二度とかかりにくい理由に気付き，考察している。	免疫の働きに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
生物の多様性と生態系 植生と遷移	植生と遷移について，植生と遷移のことを理解するとともに，遷移の要因を見いだして表現する。 植生と遷移に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	植生と遷移について，基本的な概念や原理・法則などを理解している。植生の遷移に関する資料に基づいて，遷移の要因として土壌や光環境について見いだして理解している。 遷移について，モデル的な過程とその要因を理解している。	森林の構造と相対照度のデータから，明るさの変化を見いだして表現している。 資料から，土壌や光環境の変化によって遷移が進行することに気付き，考察している。	植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。ギャップ更新が起こらない場合の極相林について，論理的に考察しようとしている。
生物の多様性と生態系 植生の分布とバイオーム	環境に適応した植生が成立し，植生を構成する植物と生態系によってバイオームが形成されることを理解する。	遷移の結果，気候に応じたバイオームが形成されることを理解している。 世界のバイオームについて，気候や構成する生物種を理解している。日本のバイオームについて，遷移と関連づけて理解している。	森林，草原，砂漠が成立する場所の年平均気温と年平均気温から，環境条件によって植生が異なることに気付き，考察している。	気温、降水量とバイオームの関連性を主体的に考察して表現しようとしている。 地球温暖化が進むと，日本のバイオームの水平分布や垂直分布がどのように変わるのかについて，考察しようとしている。
生物の多様性と生態系 生態系と生物の多様性	生態系と生物の多様性について理解する。資料学習などを通して，生態系における生物の種多様性を見いだす。	生態系と生物の多様性，の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	生態系と生物の多様性について，問題を見いだし見通しをもって資料学習などから，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。	生態系と生物の多様性に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
生物の多様性と生態系 生態系のバランスと保全	生態系とその保全に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	生態系とその保全について生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解している。	生態系のバランスと保全について，問題を見いだし見通しをもって資料学習などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。	生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		発言、ワークシート記述、定期考査	発言、ワークシート記述、定期考査	実験レポート、発言、ワークシート記述

令和５年度シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位	3
学科	生活環境科	学年	1年		
教科書	大修館「新高等保健体育」	補助教材	大修館「Active Sports 2023」		
科目の概要と目標	・運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ・自己や仲間の課題や練習方法について伝え、運動を継続して楽しむための関わり方を見付けるようにする。 ・ルールやマナーを大切にして、運動に自主的に取り組もうとする。				

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体つくり運動	体の使い方の気付き 体の動きを高める運動 効率の良い組合わせの実践 バランスの良い組合わせの実践	運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	体つくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること、話合いに貢献しようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
体育理論	スポーツの発祥と成立 スポーツ文化の発展と現代社会	・スポーツは，人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと，近代になって，スポーツは娯楽から競技に変化し，一般の人びとに広がっていったこと，現代では，競技だけでなく，広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており，その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。	・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について，事実や理念を整理したり，自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして，自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について，習得した知識を基に，持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて，自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に，主体的に取り組もうとしている。
	オリンピック・パラリンピックと国際社会	・現代のスポーツは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており，その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
	スポーツの経済効果とスポーツ産業	・現代のスポーツの経済的効果には，スポーツの実施による直接的な効果のみならず，例えば，スポーツ用品，スポーツに関する情報やサービス，スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果，スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり，経済活動に大きな影響を及ぼしていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
	スポーツに求められる高潔さ	・競技会での勝利が個人や国家等に多大な利益をもたらすようになるとドーピング（禁止薬物使用等）が社会問題として取り上げられるようになったこと，ドーピングは不当に勝利を得ようとするフェアプレイの精神に反する不正な行為であり，能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせる行為であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		
	持続可能性からみたスポーツと環境	・スポーツに関わる人々の増加は，例えば，地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。		

選択領域（A,Bの中から１領域以上選択）					
陸上競技・・・A	走・跳・投の基礎基本 短距離走 リレー	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分に高めることができる。	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
ダンス・・・B	創作ダンス 発表会	○知識 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。	○技能 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。	表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
選択領域（C,Dの中から１領域以上選択）					
球技・・・C 【ゴール型】 サッカー バスケットボール ハンドボール	基本技能 課題に応じた練習 簡易ゲーム	○知識 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。	○技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間に考えたことを他者に伝えている。	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
【ネット型】 テニス バレーボール バドミントン			○技能 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。		
【ベースボール型】 ソフトボール			○技能 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。		
【武道】 ・・・D 柔道	伝統的な考え方 基本動作 連絡技 簡易試合	○知識 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。	○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
剣道	伝統的な考え方 基本動作 しかけ技・応じ技 簡易試合		○技能 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。		
観点別評価に対する評価方法		観察 技能テスト 学習カード		観察（発表、話合い、発言） 学習カード	観察（発表、話合い、発言） 学習カード

令和５年度シラバス

教科	家庭	科目	家庭総合	単位	4
学科	生活環境科	学年	１年		

教科書	実教出版「家庭総合」	補助教材	実教出版「生活学Navi」資料＋成分表 富山県教育委員会「とやまの高校生ライフプランガイド―未来をクリエイトしよう―」

科目の概要と目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて学ぶ。 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 人の一生と家族・家庭及び福祉	・人生をデザインする ・自分らしい生き方と家族	家族・家庭の機能と家族関係、法律、家庭生活と福祉、家族・家庭と社会との関わりや社会環境の変化と課題について理解している。	ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について、実践に向けた計画を考え、生活設計を工夫している。	生涯を見通した自己の生活について考え、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	・子どもとかかわる ・高齢者とかかわる ・社会とかかわる	子供の発達や高齢者の心身の状況に応じて適切にかかわるための技能を身に付けている。 子供や高齢者を取り巻く社会環境や福祉について理解している。	家庭や地域及び社会の一員として、共に支え合って生活することの重要性について、考察したことを科学的根拠に基づいて論理的に表現している。	様々な人と協働し、子供の健やかな発達や高齢者の自立生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
B 衣食住の生活の科学と文化	・食生活をつくる ・衣生活をつくる ・住生活をつくる	ライフステージの特徴や課題に応じた衣食住の生活について理解し、自己と家族の生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	健康と安全、環境に配慮した衣食住の生活、文化の継承・創造について、実践に向けた計画を考え、工夫している。	生活文化を継承し、自分や家庭、地域の衣食住の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
C 持続可能な消費生活・環境	・消費行動を考える ・経済的に自立する	生活における経済の管理や計画、リスク管理、契約の重要性、持続可能な消費生活について理解している。	責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、工夫している。	課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	実践を改善したり、評価したりしている。 課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを科学的根拠に基づいて論理的に表現している。	課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 作品 ワークシート ホームプロジェクト	定期考査 ワークシート ホームプロジェクト	ワークシート ホームプロジェクト

令和５年度シラバス

教科	家庭	科目	生活産業基礎	単位	2
学科	生活環境科	学年	1年		
教科書	生活産業基礎	補助教材	なし		

科目の概要と目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活産業を学ぶ	・私たちの生活と生活産業 ・生活産業のスペシャリストになるために	職業人として働くことの社会的な意義や役割について理解している。	産業構造の変化について課題を発見し、生活産業を担う職業人としてその解決に向けて考察している。	生活産業への関心を高め、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
生活に対応した商品・サービスの提供	・消費者ニーズの把握 ・商品・サービスの開発及び販売・提供 ・関連法規	消費者ニーズを的確に捉えることの必要性と、商品を企画し、提供していく上で必要なマネジメントの手法、関連法規の概要や趣旨を理解し、関連する技術を身に付けている。	消費者のニーズに対応した商品・サービスを開発し提供するまでの過程における課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫しようとしている。	ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
ライフスタイルの変化と生活産業	・食・衣・住生活関連分野・ヒューマンサービス分野の変化と職業	社会の変化に伴いライフスタイルが多様化し、人々のニーズに対応して生活産業が発展していることについて理解している。	生活産業と日本の伝統産業における課題を発見し、その解決に向けて考察している。	ライフスタイルと生活産業について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
生活産業と職業	・食生活関連産業の職業と資格 ・衣生活関連産業の職業と資格 ・住生活関連産業の職業と資格 ・ヒューマンサービス関連産業の職業と資格	家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について理解し、関連する情報を収集・整理している。	生活産業に関連する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫しようとしている。	生活産業と職業について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
職業生活と自己実現	・職業生活と生きがい ・将来の生活と学業	生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力、役割や責任、職業資格について理解している。 関連する情報を収集・整理している。	適切な進路選択と専門性の向上を目指す上での課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫しようとしている。	職業生活と自己実現について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
観点別評価に対する評価方法		定期考査 ワークシート レポート 作品等	定期考査 ワークシート レポート 作品等	ワークシート レポート 作品等